

若手能鑑賞のための入門講座

能の台本を「謡本（うたいぼん）」といいます。

平成31年1月19日（土）に大槻能楽堂にて行われる

第28回「若手能」の演目から「舍利（しゃり）」の解説を聞き、謡本の一部を、みんなで声に出して読んでみましょう。



図版は『省亭花鳥画譜』
桜枯木に繡眼鳥（めじろ）
大阪市立図書館デジタルアーカイブより一部改編

謡本をよむ

- 日時：平成30年 **12月2日（日）**
10時30分～12時
- 場所：大阪市立城東図書館 多目的室
- 講師：久田陽春子（ひさだやすこ） 能楽大倉流小鼓方
- 定員：当日先着40名 ■ 参加無料

『舍利（しゃり）』について

謡曲。五番目物。古名「足疾鬼（そくしつき）」。作者不詳。

出雲国美保の関の僧が十六羅漢や仏舍利を拝もうと京都東山の泉涌（せんにゅう）寺へ参詣する。

寺男の案内で仏舍利を礼拝していると、寺近くに住む里人が現れともに拝む。舍利について語っていると、空がかき曇り稲妻が走り、里人の顔が鬼と化した。「自分は仏舍利に未練を持つ足疾鬼の執心である」と言って舍利を奪い天井を蹴破って飛び去った。僧は寺男から韋駄天（いだてん）のことを聞き、二人で再び祈ると韋駄天が現われ、足疾鬼を追いつめ舍利を取り返す。

参考文献：第28回能楽若手研究会大阪公演チラシ 「新版 能・狂言事典」/平凡社 「日本国語大辞典」/小学館

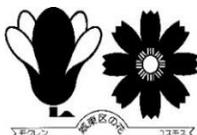
城東区は能の祖、榎並猿楽の発祥の地です。地域ゆかりの伝統芸能にふれてみませんか？

大阪市立城東図書館

〒536-0005

大阪市城東区中央 3-5-45

電話 (06)6933-0350



大阪市立図書館ホームページ <https://www.oml.city.osaka.lg.jp>
城東図書館のページはトップページ右側のリンクからご覧いただけます

